

第22回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール

岐阜県大会 大会要項

- 1 期 日 令和4年10月29日（土）
- 2 場 所 ZOOM を使ったオンライン開催
※アイデアバッグ本部は、国際たくみアカデミー（美濃加茂市）に設置
- 3 主 催 岐阜県教育委員会（学校支援課）
岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会
- 4 後 援 岐阜県産業教育振興会 熊樹堂 トップマン 中日新聞社
- 5 目 的
 - ・「ものづくり」の発表を通して、知識や技能を習得し、活用することによりものをつくることや活用の喜びを味わう機会とする。（昨年度、アイデアバッグ部門と生徒作品コンクールの両方にエントリーしている作品がありました。多くの生徒に参加していただきたい観点から、どちらかに絞って参加をお願いします。）
 - ・技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びや仲間と競技をする喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、合わせて知識や技能の向上を図る機会とする。
 - ・自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
 - ・製作を通して、ものを大切に作る心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。
- 6 応募締切 : 令和4年10月7日（金）（応募一覧、作品及びレポート提出）必着
- 7 参加費 : 不要
- 8 参加資格 : (1) 10月29日（土）の本大会に出場できる生徒。（部活動の大会、学校行事等が予定されている場合は、出場可能かどうか確認の上、応募してください。）
(2) 本大会にて2位までとなり、東海北陸大会を経て全国大会に選出された場合、令和5年1月28日（土）に行われる「第22回中学生創造ものづくり教育フェア」での全国大会（オンライン開催）への参加が可能である生徒。
- 9 応募様式 : ・製作レポート
※字や絵がはっきりと見えるようにA4カラー印刷で2部提出すること。
・作品
・応募一覧表
上記3点を提出する。応募は郵送か、直接担当校までお持ちください。
メールでの提出は不可とします。
- 10 審査 : 会場での製作は実施せず、作品、レポート及びプレゼン発表による審査を実施する。

* 審査項目・内容については、全国技術・家庭科研究会HP : <http://www.ajgika.ne.jp/> に掲載されています。参考にしてください。

1 1 競技の課題および課題製作上の注意点について

(1) 競技の課題について

『バッグ（ショルダーバッグ，トートバッグ，リュックサックなど）』とする。

(2) 使用する布について

- ・バッグ本体の全部または，一部に，家庭にある自分または，家族の衣服を用いる。
その他，衣服以外の布などを加えてもよい。

(3) デザイン及び機能について

- ・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。
(例：ポケットの形状やボタンをそのまま利用する など)
- ・『バッグ』の口を閉じられるようにして，中身が出ない工夫をする。

(4) 縫製について

- ・入れるものに必要な強度が保たれるように，布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。
- ・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
- ・スナップは，必ず1つ以上付ける。
- ・3時間程度で製作できる作品とする。

(5) レポートについて

- ・レポートには，「テーマ」，「構想」，「自分や家族の生活を豊かにする視点」，「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫（どの部分をどのように活用するか）」その理由を明記すること。また，まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること（朱書きする）。
- ・解体前の全体像を，写真またはイラストで表す。

(6) プレゼンテーションについて

- ・当日はオンラインにて「製作した『バッグ』について，3分以内の発表を行う。その際，利用方法，「自分や家族の生活を豊かにする視点」，「私にとってのものづくりの視点」，「衣服の再利用の工夫の視点」から発表をする。そのあと審査員から作品や製作について2分程度質疑応答を行う。
- ・プレゼンテーションは「zoom」でできること全てを認める。

※プレゼンテーション発表時には，作品は提出した状態である。発表の際に必要なであれば，写真などで記録しておくといよい。

「競技の課題および課題製作上の注意点について」は，全国大会の要項に基づき決定しています。

1 1 応募および問い合わせ先：可児市立西可児中学校 村上 明子（むらかみ あきこ）
〒509 - 0258 可児市若葉台7丁目1番地
TEL 0574(65)6835 FAX 0574(69)0096
E-mail nishikani@school.city.kani.gifu.jp

本大会要項及び申し込み用紙は，今後以下のホームページにも記載されます。

教育センターHP：<http://www.gifu-net.ed.jp/gec/>

岐阜県中学校技術家庭科研究会HP：<http://ajgika.ne.jp/~gifu/dl.html>

第22回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 岐阜県大会

『豊かな生活を創るアイデアバッグ』応募一覧表

立

中学校

学 年	氏名（ふりがな） ※大会冊子等に記載します。間違いのないようお願いします。	
指導担当教員名（ふりがな）	担当教科	
連絡先住所 〒	連絡先電話番号 FAX	
メールアドレス		

※ 応募者多数の場合は複写して下さい。

※ FAX，メールでご連絡させていただくことがあります。必ずご記入下さい。

豊かな生活を創るアイデアバッグ製作レポート

都道府県名	ふりがな 学校名	ふりがな 中学校	ふりがな 生徒名	()年
-------	-------------	-------------	-------------	------

〈製作テーマ(入れるもの)〉

〈作品 PR〉

① 自分や家族の生活を豊かにする視点

② 私にとってのものづくりの視点

③ 衣服の再利用の工夫の視点 (どの部分をどのように活用するか)

〈材料と分量〉

*使用する材料はすべて個数も記入。布の材質・種類・容量等も具体的に記入する

〈出来上がり予想図(デザイン画)〉

*ポイントになるところがわかるようにバッグの前後(横)など角度を変えて記入

〈活用部分と型紙配置図(型紙は必要な枚数を記入)〉

<製作工程>

*スナップ・まつり縫いと使用目的に合わせた強度がある縫い目・縫い代の始末・中身の出ない工夫 等がわかるように言葉と絵図を使って具体的に記入。

豊かな生活を創るアイデアバッグ製作レポート

都道府県名	ふりがな 学校名	ふりがな 中学校	ふりがな 生徒名	()年
-------	-------------	-------------	-------------	------

<製作テーマ(入れるもの)>

<作品 PR>

① 自分や家族の生活を豊かにする視点

誰のためにどういう思いでものづくりをするのか、どのような目的で製作するバッグか、どのような点で生活が豊かになるのかを記入する。

② 私にとってのものづくりの視点

ものづくりに対する自分なりの考えを取り入れて記入する。

③ 衣服の再利用の工夫の視点（どの部分をどのように活用するか）

自分または家族の着用した衣服を、どのように活用するのか、活用方法（部分）とその理由について再利用の工夫を記入する。

<材料と分量>

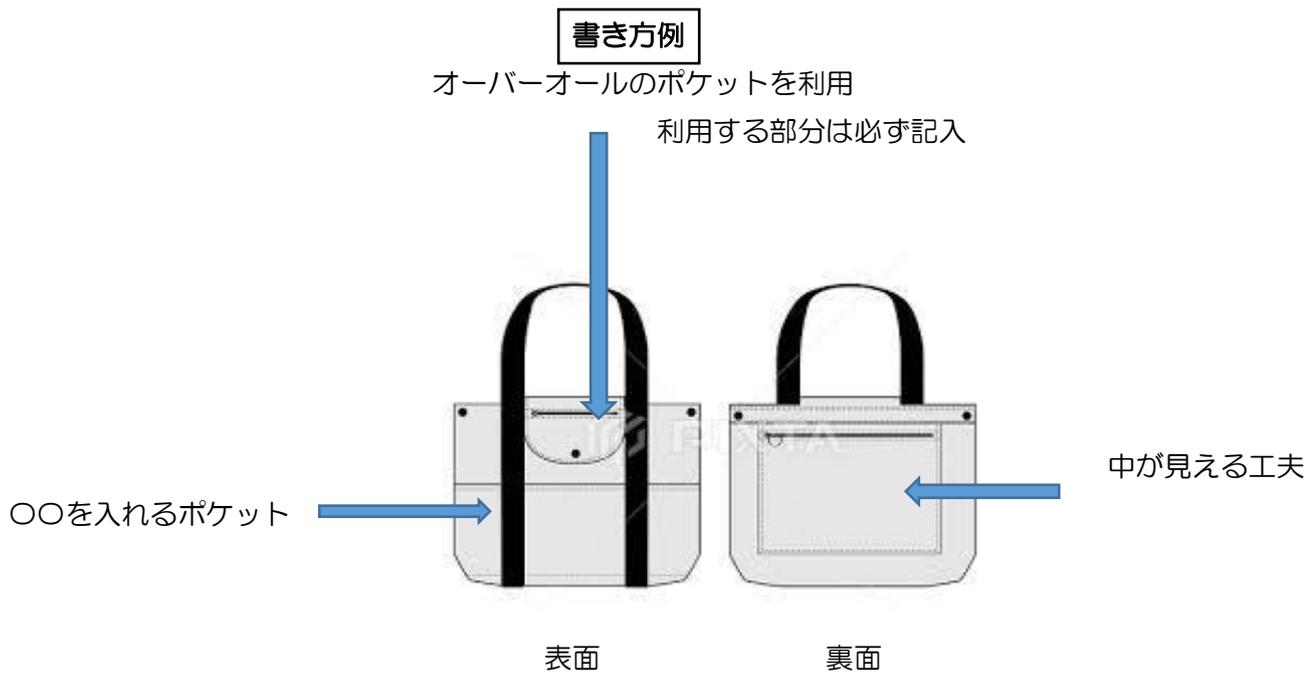
*使用する材料はすべて個数も記入。布の材質・種類・容量等も具体的に記入する

書き方例

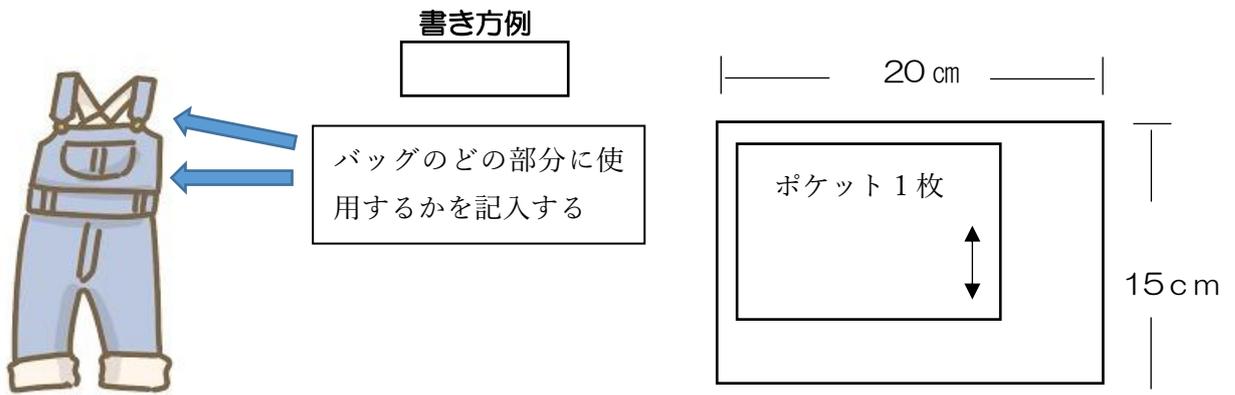
- ・濃紺布(デニム)40×30 cm
- ・水玉布(シーチング)20×15 cm
- ・ボタン 3つ
- ・ひも 200cm
- ・ワイシャツ(綿) 袖部分 2本
- ・ワイシャツ(綿) 背中部分 1枚
- ・ファスナー 40 cm
- ・バイアステープ 20 cm

<出来上がり予想図(デザイン画)>

*ポイントになるところがわかるようにバッグの前後(横)など角度を変えて記入



<活用部分と型紙配置図(型紙は必要な枚数を記入)>



(絵図を使って説明をしても良い)

<製作工程>

*スナップ・まつり縫いと使用目的に合わせた強度がある縫い目・縫い代の始末・中身の出ない工夫 等がわかるように言葉と絵図を使って具体的に記入。

書き方例

- 1 型紙配置
- 2 しるし付け
- 3 ロックミシンで布の始末
- 4 ポケットつけ
- 5 まつり縫い (ふたのパイピング部分)
- 6 スナップ付け (内ポケット)

・
・
・
・
・
・

- 10 バッグの口にファスナーを付ける



(縫い目の強度)

第22回全国中学生創造ものづくり教育フェア 「あなたのためのおべんとう」コンクール岐阜県大会 実施要項

- 1 期 日 令和4年10月29日（土）
- 2 場 所 国際たくみアカデミー
- 3 主 催 岐阜県教育委員会（学校支援課）
岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会
- 4 後 援 岐阜県産業教育振興会 熊樹堂 トップマン 中日新聞社
- 5 目 的 (1) 中学校技術・家庭科で学習した内容を生かし、おべんとうづくりを行う。その成果の発表を通して、知識や技能の向上を図りよりよい食生活を目指そうとする意欲を育てる。
(2) 食べてもらう相手のことを考えた普段通りの日常生活の中で作られるおべんとうづくりを通して、身近な人との関わり大切さや「食」の重要性を知る。
- 6 応募締切 令和4年9月27日（火） 参加者名簿及びレポート提出
レポート及び材料表については『全国中学生創造ものづくり教育フェア あなたのためのおべんとうコンクール』よりダウンロードしたものを使用する。参加者名簿については本要項4ページの様式1を使用して提出する。
- 7 参加費 不要
- 8 応募方法 ①参加者名簿に、参加中学校名、連絡先、学年、氏名等を記入し、メールで提出する。
②レポートと材料表に記入し、カラーで2部コピーして郵送または提出。返却はしない。原本不可。メールでの提出は不可。（スキャン等で見にくい場合があるため）
・①、②ともに締切は6に準ずる。
③最終審査での提出物は異なるため、一次審査合格時に詳細を連絡する。
- 9 審 査 一次審査と最終審査を実施する。
一次審査：10月上旬にレポート審査を実施。審査結果を参加者全員に通知する。
最終審査：一次審査合格者は、10月29日の最終審査にてレポートと調理動画を提出し、当日のプレゼンテーションを含めて審査する。
- 10 表 彰 最終審査の上位入賞者（3位までを予定）を表彰する。
- 11 参加資格 ①岐阜県内の中学校・義務教育学校・特別支援学校に在籍する生徒。
②1レポートにつき1名での参加とし、1人1レポートのみ提出可。複数提出があった場合はすべて無効とする。
③本大会にて最優秀賞になり、全国大会書類審査に向けてレポートと調理動画を撮影、提出できる生徒。※注1
④本大会にて最優秀賞になり、全国大会書類審査にて選出された場合、令和5年1月28日（土）、29日（日）に行われる「第22回全国中学生創造ものづくり教育フェア」での全国大会への参加が可能である生徒。

12 調理規定・レポート・動画作成について

(1) 調理時間

- ①調理開始から、片付けも含めて50分以内とする。50分には、調理器具・道具や調理台及び流し台の片付けと掃除（ゴミ処理）を行う時間も含む。おべんとうのふたをしめて完成、終了までの時間とする。
- ②調理準備の時間は30分とし、ご飯を炊く、乾物をもどす、漬け込んでおくなどの下準備を事前に行うことは可とする。材料や調味料等を必要量取り分けたり、包丁を使って切り分けたりする作業はしない。

(2) 食材

以下の通り規定規定を設ける。

- ①献立の中には必ず、**主菜として規定課題「魚を使った料理」**を加える。
*魚は、切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍でもかなわない。
ただし、甲殻類（エビ、イカ、カニ）は規定課題とはみなさない。
- ②材料費の目安は1人850円以内とする。

(3) 用具

- ①お弁当箱と小物は各自で選び準備する。色、形、大きさは、食べてもらう相手にあったものを使用する。
- ②調理器具・調理道具及び調理場所は、各自で用意する。

(4) レポート

- ①レポートの形式は全国中学校技術・家庭科岐阜県中学校技術・家庭科研究会の指定したものに準ずる。
- ②レポート及び材料表は複写使用可（数枚にわたり記入することが可）とするが、レポートのサイズからはみ出る装飾や別の用紙を使っての過度な装飾は審査の対象としない。
- ③レポートに記入もれがある場合、審査対象外とする。
- ④2群については、各食品の重量で表記する。（牛乳に換算しないこと）
- ⑤おべんとう写真のカメラ位置は真上からとし、背景は白とする。

(5) 調理動画（最終審査のみ）

- ①実際に調理している様子をビデオで撮影して、DVD（SDカード可）に記録する。レポートと共に必ず提出する。
 - ②映像は、調理開始から完成まで動画を途中で停止させない。また、手元が写るように撮影し、調理している様子と調理台が映っていること。
 - ③録画の始めに材料を映し、その後50分の調理動画を撮影すること。
 - ④動画の録画後に、完成したお弁当のカットを録画する。その際、背景（バック）は白とする。
 - ⑤調理時は、エプロン、三角巾、マスクを着用していること。
- ※録画された動画は、規定時間内に調理できるかを確認するためのものである。

(6) プレゼン発表（最終審査のみ）

- ①リモート送信（ZOOMを使用予定）を使用し、大会会場と双方向通信ができる場所から参加する。
- ②プレゼンテーション発表時は、競技者が映るよう、画面を設定する。
- ③発表の中で、実際に作ったおべんとうを見せること。
- ④プレゼンテーション発表の時間は90秒以内とする。時間を超えた場合は途中でも終了する。
- ⑤発表内容に写真や図、動画を用いる場合の機械操作等は、発表者自身が行う。
- ⑥発表後、審査員の先生方から質問されることもある。

13 審査項目 ※審査項目については、各項目を詳細にわけて審査するものもある。

<レポート>

①食材・献立	食材・献立が対象者にふさわしいか。
②栄養バランス	対象者の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安に準じ、栄養バランスが取れているか。
③規定課題	「魚」を主菜として効果的に調理しているか。また、お弁当に適した献立になっているか。
④調理方法	おべんとうに適した調理方法が工夫され、示されているか。
⑤盛りつけ	彩りや配置を工夫して盛りつけているか。
⑥味	個々の食材の味を生かし、おべんとうに適した味付けが工夫され、その工夫がレポートに記載されているか。
⑦環境への配慮	環境に配慮した調理の仕方であるか。(食材、熱源、器等)
⑧調理手順	作り方や調理手順を分かりやすく記入しているか。⑦に関わることの記載があるか。

<プレゼンテーション発表>

⑨課題設定	テーマに沿う適切な発表であり、課題設定は適切であるか。
⑩組み立て	食べてもらう人のことを考えたおべんとうであることや、食の重要性が理解されていることがわかる内容であるか。

14 応募および 問い合わせ先

羽島市立羽島中学校 田邊 濤 (たなべ みお)

〒501-6207 岐阜県羽島市足近町7丁目455

TEL 058-392-4433 FAX 058-391-8975

E-mail hashimaj@hashima-gifu.ed.jp

15 応募に関する詳しい情報について

①岐阜県総合教育センター <http://www.gifu-net.ed.jp/kyoka/gika/gikatop.htm>

②岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 <http://ajgika.ne.jp/~gifu/>

③全国中学校技術・家庭科研究会 <http://www.ajgika.ne.jp/>

- ☆ 技術・家庭科 教材
- ☆ 技術・家庭科 備品
- ☆ 岐阜県各地区ロボットコンテスト サポート
- ☆ コロナ感染症対策商品

学校教材販売

(株) 熊 樹 堂

〒500-8464 岐阜市加納前田町10番地

TEL (058) 271-0766
FAX (058) 274-8962
Email office@kumakidou.com

家庭科教材

クロスサム



学べて、使える
ものづくりにこだわった
クロスサム教材!

株式会社文溪堂



クロスサム 家庭科



HISATOMI

指導要領に対応した教材のご提案

ワイヤレスランタン

Bluetooth
技術搭載!



ランタンからも
操作できる!



エネルギー変換 型番 **WL-1**

型番	製品コード	品名	学州価(消費税込)
WL-1A	4323	ワイヤレスランタン(実験基板付き・電池なし)	3,250円
WL-2A	4325	ワイヤレスランタン(実験基板なし・電池なし)	3,150円

オーロラクロック2N 双方向通信 対応版

iPad・Chromebook対応版!
協働で考える 双方向ネットワーク学習



計測・制御教材 型番 **UC-7/8**

型番	製品コード	品名	学州価(消費税込)
UC-7A	4248	オーロラクロック2N ほんだ付け基板(電池なし)	3,400円
UC-8A	4251	オーロラクロック2N 完成基板(電池なし)	3,400円

久富電機産業株式会社
〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇989

TEL (084)955-6889
FAX (084)955-1551

●URL <http://www.hisatomi-kk.com>
●e-mail info@hisatomi-kk.com

「つくる」って楽しい!

ものづくり
発信基地

「ものづくり」を通して
「生きる力」を育む

プログラミング学習教材



Windows

Chromebook

Ver 4.0

Webも
チェック



TopMan

株式会社トップマン

本社: 兵庫県三木市大村58番10 URL <https://www.topman.co.jp/ky/home.html>
TEL : (0794) 82-8601(代) E-mail kyougu@topman.co.jp

「ほけんの大工さん」の仕事

未来の「安心」

・保険の前置診断 (証券診断士)

自分の家が、「いざ」(災害)という時に耐えられるかは重要ですよね。

「ほけんの大工さん」は、あなたの保険が人生の「いざ」に耐えるか、

またご自身のご要望に合っているかを診断いたします。

育む「絆」

・身近な保険の最先案内人 (保険診断士)

司法の権(調停・裁判)で争われている「重要分野」件数の70%以上が、

保険料が安くからないケースです。正しい知識と準備、よき相談相手

がいれば、「保険」が「争論」にならずに済むかもしれません。

その他各種相談

・交通事故に関する相談 など

・「生命保険」「損害保険」商品の販売



株式会社アネシス

アネシスは ギリシャ語で安心という言葉です。
〒501-0322 岐阜県瑞穂市古橋1247-1

TEL 058-328-8011 E-mail info@anesys.jp
FAX 058-328-8022 HP <http://anesys.jp>

詳しくは <http://anesys.jp/work-friend> をご覧ください!